

企業名： 東京精密

---

レポート名：「INTEGRATED REPORT 2024」

---

#### 1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

理解できる。東京精密が目指している将来の姿は『計測で未来を測り、半導体で未来を創る』というキャッチフレーズで表されている。メガトレンドから事業機会を探索し、見つかった事業機会に対して自社の既存事業と新規事業創出へ取り組むことによって、この目指す姿を叶えるというロードマップも理解しやすい。また未来という言葉が抽象的であり、分かりづらいため、統合報告書では具体的に半導体、精密測定機器によって達成される未来を各分野で明記しているため、理解しやすかった。

#### 2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

理解できる。東京精密は精密測定機器事業からスタートした会社であり、その精密な計測技術を半導体製造装置にも活用し、質の高い半導体製造装置を製造することができている。また、この精密測定機器事業を持つ半導体製造企業は業界内で東京精密しか存在しておらず、他者との差別化を図れていると思う。さらに必要に応じて特許取得を行い、理想的な特許羽毛を継続的に構築することによって高い参入障壁を形成しているため、競争優位性があると言える。

#### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

持続性はある。東京精密の精密測定機器事業には1950年から蓄積されたノウハウがあり、その約80年の経験を凌駕する企業はあまり出てこないと考えられる。また、その長年の技術の蓄積を凌駕する企業が出てきたとしても、知財ポートフォリオの最適化を定期的に行っているため、他社は東京精密の技術や事業領域を完全に模倣することができないと考えられる。

#### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

達成できるかについては懐疑的である。東京精密は人財育成を図るために、「人財育成力の向上」と「お客様視点での発想力の向上」に注力している。「人財育成力の向上」のための具体的な施策として人財育成力研修や上司自身の360°フィードバックを実施しており、また「お客様視点での発想力の向上」についてはデザイン思考をベースとした研修を実施している。しかし、この施策が実施されている様子や、実施した結果などが掲載されておらず、人財育成を謳っているだけではないかと懐疑的になる読者がいる可能性がある。また、エンゲージメントサーベイを行っているという記載があるが、行ったのであれば結果を載せなければ

ば、本当に行っているかもわからず、さらに従業員のエンゲージメントの状態も知ることができない。

#### 5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

良かった点は東京精密の競争優位性が半導体に精通していなくても理解しやすくまとめられている点である。東京精密の二つの事業のシナジーを簡潔に「測れないものはつukれない」と表現しており、この言葉によって二つの事業を持つ業界唯一の会社である強みがすぐに理解できる。また、その強みに持続可能性があるかについてもまとめられており、現状と将来のトレンドから注力すべき課題に対して施策も提示されている。

改善すべき点は、人的資本戦略のページにおいて、人財育成の施策の具体的な実施状況や結果に関するデータが表記されていなかった点である。人的資本は非財務情報であり、定性的面が強いからこそ、統合報告書の閲覧者はその人財育成のための施策が本当に実施されているのか、さらに施策が本当に効果のあるものなのかについて懐疑的になる可能性が高い。東京精密のホームページには研修の実施時間などのデータが載っていたので、まずはそのデータを載せるだけでも、人財育成に対する取り組みが積極であるというアピールになるのではないか。また、他社の統合報告書では施策が実施されている写真を載せることによって施策が実施されていることをわかりやすく閲覧者に提示している企業もある。人財育成のための施策を開始してからまだ日が浅く、施策のアウトカムに関するデータをうまく抽出できないのかもしれないが、人財育成のためのインプットの情報は比較的簡単に抽出することができるのではないかと私は考える。

(参考文献)

東京精密 統合報告書 2024 「INTEGRATED REPORT 2024」

[https://www.accretech.com/jp/ir/index/main/00/teaserItems1/00/linkList/0/link/IntegratedReport2024\\_J.pdf](https://www.accretech.com/jp/ir/index/main/00/teaserItems1/00/linkList/0/link/IntegratedReport2024_J.pdf)